



おじさんお願い!

夏休みの宿題手伝って♡

「おじさんおっはよー♥」

「ゆあ・・・朝っぱらから何の用だよ・・・。」



「ちよっとお願い事があるの♥」

「お願い?」

「夏休みの宿題おじさんに手伝ってほしいんだ〜♡」

「夏休みの宿題？」

「お前もう8月終わるけど出来てないのか？」



「だからおじさんに手伝ってほしいの〜」

「仕方ねえなあ・・・何を手伝えればいいんだ？」

「全部やって♡」

「・・・は？」



「ゆあ宿題ぜんぜんやってないの♡
おじさんおねがぁい♡」

「断る。」

「お願いツツツ！」

「ゆあお礼に何でもするからツツツ！
おじさんどうせ暇でしょ？」

「このガキ……」

「……ん？」

「今何でもするつつつたか？」



「うん♥なんでもするよ？」

ね、いいでしょ？♥」

ゆあはわざとらしく年齢にそぐわかないデカパイを俺に押し付けてきた。
こいつ・・・ガキのくせに自分の武器を理解してやがる・・・。

「・・・分かった。入れよ。」

「やったあ♥お邪魔します♥」



「薄々気付いてはいたけど
おじさんってどうしょーもない変態さんだねー♡
○学生のゆあにこんなことさせるなんて♡」

ブ
ッ
ッ
ッ

ブ
ッ
ッ
ッ

「うるせえ黙ってデカパイでちんぽシコレ」



「ごっわあ♡

おじさん必死すぎ♡♡♡」

「くっ……♡」

クソツ……○学生のくせにマジで
なんつーデカパイしてやがるツ……
気い抜くとすぐイキそうだツ……

ハァハァハァ
アハハハ

ハァハァ♡



「ほらほらあ♥

ゆあのおっぱいでみっちりおちんぽ挟み込んで
いっぱらシロシロにあげろ♥」

「くぁッ♥おんミミ
激しッ・・・」

「あれ〜?

おちんぽビクビクしてるよお?♥

もうおちんぽみるくのぼってきちやったのお?♥♥」

おんミミ

おんミミ

おんミミ

おんミミ

おんミミ



「ペロッ・・・♡

んっおじさんのおちんぽみるくクツサ♡まつず
◎学生相手に濃厚みるく出しすぎいっ♡♡

ドッ...

ぬっお...

「グッ・・・うるせえ・・・」



「じゃあ宿題お願いね？」

「いやお前これで終わりのワケねえだろ」

「えーもうタマタマ空っぽじゃないのお？大丈夫う？
無理しなくていいんだよお？♥」

「コイツ。。。」



「うっわぁ・・・おじさんマジで○学生のゆめに
ナマハメしちゃう気？最低w」

「散々煽ってきてきて今更何言ってるんだよ」



やばッ♥

おじさん程度ゆあのおっぱいで相手してあげれば
一発で終わりだと思ってたのに……
おじさんのおちんぽ全然元気じゃん……♥

ドキ

ムキ

「うわっね」

「……」

ん
ギンジン

ギンジン



「何度も何度もハメまくって

お前のキツキツまんこ俺のちんぽの形にしてやっから♥」

「お前が仕掛けてきたんだ♥
後悔してももう遅いからなツツ♥」





ぽんぽんぽんぽん

ぽんぽんぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽんぽんぽん

ぽんぽんぽんぽん



「あゝゝゝ♡

「おい、くばってんじやねぞ四つん這いになれ」

あゝゝゝ♡

あゝゝゝ♡

「あッ……ちよ、まって……♡」

ヤバ……♡

ゆあ、おじさんのこと見くびってたかも……♡

あゝゝゝ♡

あゝゝゝ♡









やだ。。。♡
おまんこおじさんの精子で
いっぱいになって溢れてきちゃった。。。♡

ブッポッ

ん

んんんんん

ん

んんんんん

んんんんん

んん



キンコーンカーンコーン。

夕方のチャイムが鳴ってる。。。もうずっとおじさんのおちんぼにハメられっぱなし。。。♡ちよっとおじさんの相手して宿題やらせて帰るつもりだったのに。。。♡

ドブッ♡

スッ

スッ

ソッ♡

スッ♡

スッ♡



「ふう。。。。」

今日は読書感想文だけやっついてやるよ。」

「え？他のは？」

「また明日も来い。」

「。。。。分かった。。。。♡」

「ズミン♡ズミン♡」

ニヤヒン

ニヤヒン



「おいもつと奥まで入るだろ？」

「ぐんぐん♡♡」

グッホッ♡

グッホッ♡

ぐん♡

ぐん♡





グニッ

グニッ

グニッ

グニッ

お尻が気持ちいい

お尻が気持ちいい

「ちんぽ啜えながらまんこ濡らしやがって……し
とんだエロガキだな。
精子一滴もこぼさず全部飲み込めよ」

「んんんん♥んんんん♥ゴクゴクッ♥♥♥」



「ゆあはどの教科が苦手なんだ？」

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

「算数……」



「じゃあ今日は国語のプリントさせてやる。
算数はまた明日な？」

「……いじわる……」

ムキムキ

ムキムキ

「あ？」

今日俺を満足させられなかったら
国語もなしだぞ？」

「ツ……分かってるから……♡
はやく……♡」

ギンツ

ギンツ





「んっっ♥あっっ♥やばっっ♥」

「お前俺のちんぽにハマってきてきてねえか？」

「んっっ♥あっっ♥

「んな訳ないじゃんっっ♥んっっ♥」

「おじさんキツモっっ♥あっっ♥」

「……ふん」

「んっっ♥あっっ♥

「んっっ♥あっっ♥



「おっと、もう外真つ暗だな。そろそろ帰っていいぞ」

「あッ♥あと二発イけるでしょ?♥」
「。。。」



クワッ...

おっ...

「んッ♡」

今日は算数の宿題

やっつけてくれるんでしょ?」

「俺が満足したらな」

ビッ

ビッ

ビッ

ビッ

ビッ

ビッ

ビッ

ビッ



「にしても宿題が全部終わつたら
ゆあの身体を好き放題できるのも終わりがあ

「そつそんな当たり前じゃんツ
宿題してくれなきゃおじさんに
こんなことさせる訳ないしツ・・・♡」

びっしょり

びっしょり

びっしょり

びっしょり

びっしょり

びっしょり

びっしょり

びっしょり

「あっや。」

「じゃあ今のうちにとんハメるわ」

「あ♡♡♡」





「まんこびくびく痙攣させて

イキやがって。。。。

お前もしっかり楽しんでるよな。。。。

うっまだでる。。。。」

「うっさい♡♡

ほらまだまだこれからでしょ!♡♡」

「はいはい」

はっ♡

ビクビク♡

ドクン♡

ズン♡

おっ♡

グン♡





おじさんにはああ言ったけど
実際このおちんぽやバイ……♡

あツイクツツ♡
またイっちゃうツツ……♡♡

アツク

アツク

アツク

アツク

アツク

アツク





ジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウ

ジュウ

ジュウジュウ

ジュウ

ジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウ

ジュウ

ジュウ

イッてるのにいっしょ♡♡♡
もぉ♡ヤバすぎ♡♡♡

アッ♡

アッ♡

またびゅーびゅーされたら♡
ゆあ堕ちちゃう♡♡
このおちんぽに堕ちちゃうよ♡♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡

アッ♡





アハハハ
アハハハ

アハハハ
アハハハ

アハハハ
アハハハ

アハハハ
アハハハ

アハハハ

アハハハ
アハハハ

アハハハ

アハハハ
アハハハ
アハハハ

アハハハ
アハハハ
アハハハ

「ゆあ明日もウチに来るのか？」

「当たり前じゃんまだ宿題全部終わってないし」

「お前なあ。。。少しは自分でやれよな」

「うるさいなあ♡」

「じゃあまた明日ね♡おじさん♡」

「残りの宿題は？」

「んっっ♥理科と自由研究・・・♥」

「そうか。夏休みももう終わりだろ？」

「残り全部今日やってやるよ」

んっっ

んっっ

んっっ

んっっ

んっっ

んっっ

んっっ

んっっ

んっっ





「あツツおじさツツ♥激しツツツ♥♥」
おじさんのおちんぽでゆあのおまんこの奥
グリグリ突かれるの気持ち良すぎて・・・♥
ヤッバイよお・・・♥♥♥

アツツ

アツツ

アツツ

グツツ

リ

アツツ

アツツ

アツツ

アツツ

アツツ

アツツ

アツツ



あツツツ♥くるツツツ♥♥♥
おじさんの濃厚おちんぽみるく
ゆあのおまんこに
いつぱいびゅーびゅーされちゃう♥♥♥

アツツツ

アツツツ

グツツツ

アツツツ

アツツツ

アツツツ

アツツツ

アツツツ

アツツツ

アツツツ

アツツツ

アツツツ

あッあッ・・・♡ヤバイッッ・・・♡
夏休みが終わったからおじさんのおちんぽなしとか・・・
無理なんだけど・・・♡

アッアッ

アッアッ

グッ

リ

アッアッ

アッアッ

アッ

アッアッ

アッ

アッ



「ん。。。ん。。。!?ゆあ!?!
お前何して。。。今日から学校だろ!?!」

「おはよーおじさん♥
おじさん家の鍵かけてないとか不用心だね♥」

「なんだよ宿題全部やってやったろうが!」



「これからは毎朝学校行く前に
おじさんのおちんぼハメハメしに来るからね♡」

「ま、毎朝あ!?!」



「おじさんもゆあんの身体好き放題したいんですよ?♡」

「まあそう言ったけど。。。。」





総集編追加CG
~ゆあと求婚ボテ腹H~

「ボテ腹ゆあエッロツミ」

「あッ♡こんな大きいお腹のゆあに
興奮するとかおじさんマジ変態だね♡」

「♡ミミチの♡」



♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

「返事は！？！？」

俺の嫁になるのは嫌かッッ！？！？」

バチマンッッッ

ビュッ

ゴッ

ゴッ

ゴッゴッゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ



「それとも腹のガキは俺との子じゃねえのかー?」

「んなちけないミミ」

ゆめおじさんのおチンポ一筋だもんとミミ

「ぶほミミミミ」

「じゃあ俺と結婚しろツツツ」



「はッ♥おッッッ・・・♥

ゆあ、ホントにおじさんのお嫁さんにならな6u」

「あぁ、そうだよゆあ♥

「ふあぁ・・・♥なんか照れちゃうかなあ♥

んんん♥
んんん♥

んんん♥

「ッ・・・♥

やばいゆあが可愛すぎて

またチンポ勃ちちまった♥

ドキドキ

ドキドキ

ドキドキ

ドキドキ

ドキドキ

ドキドキ

「もぉお♥仕方ないなあ♥
もう一回しよっか♥ダンナ様♥

